

業界における女性の活躍推進チーム 活動方針(案) (R3.12)

① 活動方針

前期のチーム会では「経済分野における女性の活躍促進チーム」として、連携会議に参画する業界団体にアンケートを実施した結果、団体ごとに取り組のレベルに大きな違いがあることが分かった。

本チームでは、業界団体が持つそれぞれの課題を認識し、課題解決に向けた取り組みを促進することを目的とした活動を行う。

② 活動内容

・ 団体の取組状況に応じたアクションの検討

前期で実施したアンケートで可視化された各団体の進捗・取組状況ごとに団体をグループ分けし、それぞれのレベルに応じたアクションを行う。

→ 今期の活動において、どのグループにアクションを行うのか、また団体同士の連携による活動の広がりをつくるための仕掛けについて検討が必要。

・ 業界団体アンケートの実施

団体が行った取組の進捗状況や成果を可視化しモニタリングするため、前期で行ったアンケートを継続して行う。

→ より詳細な結果の公表を行うため、調査項目の精査や集計方法の検討を行う。

・ 団体で活用できるツールの作成

上記アンケート結果等を基に、各団体において取組促進のために活用できるツールや事例集等を作成する。

若年層に対する性暴力の防止・啓発チーム(案) (R3.12)

① 活動方針

令和2年6月 11 日に決定した「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を踏まえ、子供たちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、全国の学校において「生命(いのち)の安全教育」を推進することとなった。

本チームでは、この生命の安全教育の更なる普及を図るとともに、ユース団体等との意見交換の機会を設け、当事者である若年層の意見を反映した性暴力の防止の取組を行う。

② 活動内容

- ・ ユース団体等との意見交換

性暴力対策に関して課題意識を持っているユース団体や関連団体と意見交換を行い、課題や実態を把握し、課題解決に必要な方策を検討する。

- ・ 若年層に対する性暴力防止のための啓発活動

SNS を活用する等、若年層に届きやすい方法を検討する。また、保護者や教員も共に学べる内容となることが望ましい。

→ 啓発物の例： 冊子での配布、動画の作成、若年層が作成した動画の募集等

- ・ 若年層の性暴力被害予防月間に併せた活動

本チーム活動の中期目標として、令和4年4月に実施予定の上記月間に併せた広報活動を展開する。

→ 広報内容の例：

啓発物として動画を作成する場合 … 試作品や構成案を公開し、意見募集
を行う

若年層が作成した動画の募集を行う場合 … 応募要項等の公開・広報 等

女性の経済的自立(経済的エンパワーメント)について (R3.12)

① 現状認識等

日本は世界有数の長寿社会を迎えており、女性の過半数が90歳まで生存する人生100年時代が到来している。また、年間の婚姻件数が約60万件、離婚件数が約20万件となり、家族の形も多様化している。こうした中、「教育、仕事、老後」という単線型の人生設計ではなく、その時々的人生ステージにおいて全ての人々が、希望に応じた様々な生き方を選べるようになることが求められている。

そのため、人生の各ステージにおいて女性が活躍するために今後必須とされるデジタル知識及び技能を育成することを目的とした意見交換会等を企画委員会にて行い、課題解決のための活動方法を検討する。

② 検討すべき取組

(1) ジェンダーペイギャップ、意思決定層への女性の登用について

男女間の賃金格差や意思決定層への女性の登用促進については、「女性活躍・男女共同参画の重点方針2022」(女性版骨太の方針)にも盛り込むべき一丁目一番地の課題であり、これまで男女共同参画会議や同会議の専門調査会でも議論されてきたところ。この課題について、男女共同参画推進連携会議の有識者議員及び、参加を希望する団体推薦議員から幅広い御意見を伺う。

→ 令和4年6月頃に重点方針2022を決定予定であり、具体的な内容の検討に向けて御意見をいただく。いただいた御提案の方針への反映も検討する。

(2) 女子学生・生徒のSTEM分野の選択促進

女子児童・生徒に対し、理工系選択のメリットに関する意識啓発やSTEM分野の仕事内容、働き方及び理工系出身者のキャリアに関する理解を促すことが重要である。連携会議としての活動を検討するにあたり、積極的な活動を行っている個人・団体に事例の紹介や現在求められている方策を伺うとともに、有識者議員及び希望する団体推薦議員で意見交換を行う。候補団体・個人の例は以下のとおり(外部団体・個人)一般社団法人Waffle、若宮正子氏(80代のプログラマー)(連携会議構成団体)IEEE、女性科学者の会、男女共同参画学協会連絡会

→ 単に理系の進路選択という点にフォーカスするのみではなく、社会経済構造の変化に伴って成長分野となっていることを踏まえて検討する。

(3) 50代以降の女性に対する取組み

女性の過半数が90歳まで生存する人生100年時代を迎え、定年以降に自身が望むセカンドキャリアを選択すること、また所属している企業での再就職のみではなく、男女ともに地域社会における活躍の場の提供等の方策を検討することが重要である。

連携会議としての活動を検討するにあたり、積極的な活動を行っている個人・団体に現状や取組事例をご紹介いただくとともに、有識者議員及び希望する団体推薦議員で意見交換を行う。候補団体・個人の例は以下のとおり。

(外部団体・個人)株式会社 Next Story…マチュア世代の働く女性のセカンドキャリアの支援を行う会社、国立女性教育会館、男女共同参画センター

(連携会議構成団体)21世紀職業財団 … 企業で正社員として働く50代・60代の男女の実態把握調査を行い、50代以降の女性の活躍促進のための提言がなされている)

→ 定年後も多様な人生選択ができるよう、副業等のスキルアップの機会を設けることで複線的なキャリアを持つことや、セカンドキャリアとして起業等の雇用によらない働き方も含めた多様な働き方を選択できることも念頭に議論する。

男女共同参画推進連携会議 業界における女性の活躍促進チーム メンバー名簿

(令和3年12月時点・五十音順)

(有識者議員)

<コーディネーター>

アキレス 美知子 SAP ジャパン株式会社 人事戦略特別顧問/三井住友信託銀行 社外取締役
/横浜市参与 男女共同参画推進人事制度担当/G20 EMPOWER 日本共同代表

<副コーディネーター>

小安 美和 株式会社 Will Lab 代表取締役
塚越 学 特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン理事

稲垣 精二 第一生命保険株式会社 代表取締役社長
井上 拓磨 株式会社はたらクリエイト 代表取締役
是枝 俊悟 株式会社 大和総研 主任研究員
田瀬 和夫 SDGパートナーズ(有) 代表取締役CEO
只松 観智子 株式会社 Think Impacts 代表取締役/30% Club Japan 創設者
/特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事

(団体推薦議員)

跡見 順子 一般社団法人日本女性科学者の会 会長
新井 ちとせ 日本生活協同組合連合会 副会長
市瀬 優子 日本商工会議所・全国商工会議所女性会連合会 会長
祝前 清美 公益財団法人あしたの日本を創る協会(全国生活学校連絡協議会 会長)
海野 恵美子 一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会 理事長
大山 みこ 一般社団法人日本経済団体連合会 ソーシャル・コミュニケーション本部 上席主幹
甘中 繁雄 特定非営利活動法人日本防災士会 常務理事
清塚 典子 公益財団法人日本YWCA 副会長
國分 佐恵子 NPO 法人 J-Win 事務局長
後藤 弘子 一般社団法人国立大学協会(千葉大学大学院社会科学研究院 教授)
下村 朱美 公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会 副会長
杉田 明子 日本弁護士連合会 男女共同参画推進本部 事務局長
鈴木 真紀江 日本公認会計士協会 常務理事
坪川 貞子 日本行政書士会連合会 副会長
富澤 由子 女性参政権を活かす会 共同代表
中村 貴子 日本放送協会 人事局専任局長
名取 はにわ 認定 NPO 法人日本 BPW 連合会 理事長

西立野 園子 日本汎太平洋東南アジア婦人協会 会長

布柴 靖枝 国連 NGO 女性国内委員会 役員

羽場 久美子 JAICOWS(女性科学研究者の環境改善に関する懇談会) 前会長

原田 慶恵 一般社団法人男女共同参画学協会連絡会 代表理事

三上 広美 全国女性税理士連盟 会長

水野 正人 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 理事長

安田 麻季代 一般社団法人日本花き生産協会 事務局長

吉原 雅子 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会(GEAHSS) 委員長

吉村 美衣子 一般社団法人日本ヒーブ協議会 代表理事

男女共同参画推進連携会議 若年層に対する性暴力の防止・啓発チーム メンバー名簿

(令和3年12月時点・五十音順)

(有識者議員)

<コーディネーター>

林 香里 東京大学 理事・副学長

<副コーディネーター>

櫻井 彩乃 #男女共同参画ってなんですか 代表

長島 美紀 公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン アドボカシーチーム リーダー

(団体推薦議員)

赤池 恵理 全国婦人相談員連絡協議会 会長

跡見 順子 一般社団法人日本女性科学者の会 会長

飯田 瑞穂 公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会 理事長

岡澤 則子 国際ゾンタ26地区 ガバナー

清塚 典子 公益財団法人日本YWCA 副会長

玄番 允子 全国人権擁護委員連合会 副会長

後藤 弘子 一般社団法人国立大学協会(千葉大学大学院社会科学研究院 教授)

小林 良江 一般社団法人公立大学協会(群馬県立女子大学 学長)

塩野 恵 全日本中学校長会 会計部理事

島田 真理恵 益社団法人日本助産師会 会長

杉田 明子 日本弁護士連合会 男女共同参画推進本部 事務局長

名取 はにわ 認定NPO法人日本BPW連合会 理事長

布柴 靖枝 国連NGO女性国内委員会 役員

則松 佳子 日本労働組合総連合会 副事務局長

羽場 久美子 JAICOWS(女性科学研究者の環境改善に関する懇談会) 前会長

増子 富美 婦人国際平和自由連盟(WILPF)日本支部 会長

松本 順 公益社団法人全国行政相談委員連合協議会 専務理事

三輪 敦子 認定特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会 副理事長

山下 いづみ 一般社団法人大学女性協会 理事

和田 照子 公益社団法人ガールスカウト日本連盟 会長